

宮崎医療センター病院

消化器・肝臓病センターでは肝臓病と胃腸の病気に対する高度専門医療を提供、地域のリーディングホスピタルを目指しております。開設以来取組んできた高齢者医療と併せより良質な医療提供体制整備を推進しております。

この春に
宮崎医療センター病院
ブランド化宣言
病院長 田畑 直人

この二月から朝な夕なに大淀川を眺めながら通動しています。その滔滔とした水の流れに心動かされながら、時人も同じように流れていることをあらためて感じるこの春です。

2015年度が始まりました。5人に1人が75歳以上になるという超高齢化社会に対応するために、政府は「2025年モデル」という新たな社会保障の在り方を提示しました。高齢者医療については「一治して救命する医療から、病気を抱えて生きることを支え、癒し、そして看取る医療へ」という方針で、今後は診療報酬・介護報酬の改定や地域医療構想等を通して、病院の機能整理と在宅医療への誘導がなされます。2025年がどのような社会になっているのかは定かではありませんが、医療界にとっては激動の10年の始まりです。さて、暗中模索のこれからの10年間、私たちが目指すべきは何かと考えた時、それは「宮崎医療センター病院をブランドにする」以外にないと思っ

四季

題字 理事長自筆
春号

(平成27年4月10日発行)

MEDICAL CORP.
JOJINKAI
Hospitals & Welfare Institutes
宮崎市高松町2番16号
TEL:0985-26-2800
FAX:0985-27-6811

思い、紹介されたというだけで患者さんが安堵し名前を聞いて「あそこなら大丈夫」と地域社会が思い浮かべてくれるような価値ある病院を創っていくという事です。そのためには、診療の力とホスピタリティー（心のこもったおもてなし）という2つが他組織よりも卓越していくことが必要

「宮崎医療センター病院はブランドになる」と今日からみんなが決意し、それに向かって日々コツコツと努力を始めた先に、新たな社会への貢献と私たち自身の誇り・喜びがあるのだと信じます。

「宮崎医療センター病院はブランドになる」と今日からみんなが決意し、それに向かって日々コツコツと努力を始めた先に、新たな社会への貢献と私たち自身の誇り・喜びがあるのだと信じます。

「宮崎医療センター病院はブランドになる」と今日からみんなが決意し、それに向かって日々コツコツと努力を始めた先に、新たな社会への貢献と私たち自身の誇り・喜びがあるのだと信じます。

理念

○私たちは、自分が受けた医療・看護・介護を提供します

基本方針

- ・患者さまの権利と尊厳を大切に、心のこもった医療・看護・介護を提供します
- ・根拠に基づいた説明のできる医療・看護・介護を実践します
- ・全職種による安全で質の高いチーム医療を行います
- ・急性期から在宅医療までを繋ぐ医療・看護・介護を提供します
- ・地域連携に努め、地域包括ケアシステムの発展に貢献します
- ・お互いを信頼し、やりがいと誇りを持てる職場にします

宮崎医療センター病院

診療情報

平成27年4月1日より、曜日別の外来診療担当医は以下のとおりとなります

	月	火	水	木	金
総合内科	鈴木	斉田	矢野	斉田	矢野
消化器内科(消化管)	村山	児玉	折田	児玉	折田
肝臓内科(肝臓)	坂元(初・再) 宇都 福田	和田(初・再) 坂元、福田 村田	岩瀬(初・再) 高橋、宇都 村田	宇都(初・再) 坂元 村田	中村(初・再) 和田、福田 永野
消化器外科	田畑	安藤	田畑/高橋	安藤	田畑/高橋
整形外科	勝本	勝本	勝本	勝本	
皮膚科		見明		見明	



新入職者集合教育

当院では、平成27年4月1日に新入職者集合教育を実施しました。新入職者は18名で、うち12名が新卒者でした。教育内容は宮崎医療センター病院で勤務するために必要な基本事項・接遇マナー・医療安全・院内感染・地域医療等について実施されました。病院長から「患者さんはもちろん、職員同士でも挨拶をして下さい」、「目の前のゴミを拾って下さい」など、医療人としてまた社会人としての基本や、病院の理念である「私たちが、自分が受けた医療・看護・介護を提供します」を解説しながら訓示があり、入職者の皆さんは真剣に耳を傾けていました。今後の活躍を期待しています。

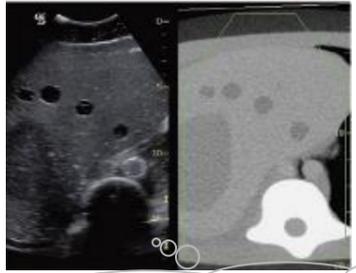
＜病院概要、サービス・規律について＞



◇超音波診断装置を3台更新購入しました◇

超音波検査って？

超音波検査は無侵襲で簡単に行われ、多くの生体情報が得られる為、現在、肝臓や心臓を始め多くの臓器の診断、治療に欠くことのできない診断法になっています。装置そのものも小型で、大掛かりな検査準備も必要がないほか、放射線を使わないため身体への負担が少ないこともメリットのひとつです。そのため、日常診療の中で聴診器代わりに用いられ、「21世紀の聴診器」とまで呼ばれています。最先端の機能を搭載しており、穿刺やラジオ波焼灼療法を行うために、あらかじめ撮影しておいたCT画像と超音波装置を連動させて表示する機能(Smart Fusion)などが搭載されており、より安全に、より確実に検査・治療が行えるようになります。



あらかじめ取得したCT・MRIのデータを取り込み、超音波の画像に連動させた断面を構成して2画面で表示。関心部位をマルチモダリティで観察することでより安全で確実な処置が可能になります。

超音波を身体に当て、それが臓器や組織にぶつかってはね返ってくる信号を受信し、臓器などの様子を映像化します。

患者様の権利

- ・患者様は、良質な医療サービスを平等に受ける権利があります
- ・患者様は、人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります
- ・患者様は、自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- ・患者様は、医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを決定する権利があります
- ・患者様は、プライバシーを尊重される権利があります

宮崎医療センター病院では、上記に基づき患者様の権利を尊重して医療を行っております。

宮崎医療センター病院

になつたとしても「住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるようにする」という地域包括ケアシステムの基本的な考えを実現するため、引き続き在宅生活を支援するためのサービスの充実、今後も増大する介護ニーズへの対応や質の高い介護サービスを確保する観点から、介護職員の安定的な確保を図るとともに、更なる資質向上への取組を推進、介護保険制度の持続可能性を高め、より効果的かつ効率的なサービスを提供するため、必要なサービス評価の適正化や規制緩和を進めていく所存であります。

■ 医師の入職(平成27年4月1日付)
※同日付で消化器肝臓病センター長が児玉真由美医師から宇都浩文医師に交代いたしました。前任者の児玉真由美消化器内臓病センター長兼副院長は、副院長として病院全体の運営に努めてまいります。

消化器肝臓病センター長
名前 宇都 浩文
出身 宮崎県
出身大学 鳥取大学
外来診察日 月曜、水曜、金曜

消化器外科 医長
名前 永野 元章
出身 宮崎県
出身大学 宮崎医科大学
外来診察日 金曜

- 昇格(平成27年4月16日付)
〔課長職への昇格〕
◆ 看護師長 岩本 みどり(看護部教育)
◆ 看護師長 川添 華寿美(C456病棟)
◆ 看護師長 河野 仁美(AB5病棟)
◆ 栄養科長 黒木 典子(栄養科)
◆ リハビリ科長 久保 貴博(リハビリテーション)

〜とっても簡単!春のレシピ〜



「栗きんとん」

栗甘露煮 : 1瓶
さつまいも(皮を剥いたもの) : 300g
水 : 100cc
みりん : 100cc
白砂糖 : 100g

- 栄養科 黒木 典子
① さつまいもを茹でる
② 茹でたさつまいも、水、みりん、甘露煮の汁をミキサーにかける
③ ミキサーにかけたら鍋に入れ、白砂糖を加えて火にかける
④ 照りがでるまで煮詰めて、栗を加えたら出来上がり

栗きんとんはおせちで有名だけど、普段のおやつにも最適だよ! たけのこご飯は若者向けのポリウムで、うちの息子の大好物でした!



「たけのこ」飯



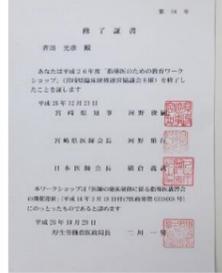
- ① 鍋にみりん、砂糖、醤油、酒を入れ沸騰させる
② 食べやすく切った牛肉を入れ、八分火が通ったらいつたん取り出す
③ 残った煮汁に薄切りにしたたけのこを入れ、煮てから牛肉を戻す
④ 温かいご飯に混ぜ、炒りゴマを散らしたら出来上がり

たけのこ : 適量
牛肉(薄切り) : 約100g
白ご飯 : 適量
みりん、砂糖、醤油、酒 : 各1/4ずつ

日本高血圧学会指導医の資格を取得しました

内科副部長 齊田 光彦

平成27年4月1日付で、「日本高血圧学会指導医(第1028号)」の資格を取得しました。当院は、日本高血圧学会の専門医認定施設(指導医の存在が必須)になっており、指導医は高血圧専門医の育成や教育を担うのが役割です。
(写真右) 又、「臨床研修医の教育に係る指導医(第34号)」としての認定を受けました。これは宮崎県・日本医師会・厚生労働省の企画による「指導医のための教育ワークショップ」に参加し所定のプログラムを修了した事を証明するものです。
(写真左)



第30回 日本静脈経腸栄養学会学術集会 in 神戸

理学療法士 日高 悟
この度、日本静脈経腸栄養学会学術集会に演題を応募したところ、幸いにも演題が採択され発表をさせていただく機会がありました。発表演題は「化膿性脊椎炎を呈したサルコペニア患者に対して、積極的リハビリと栄養療法を併用した一例」でした。近年、栄養分野においてリハビリが注目されてきています。サルコペニアという言葉がありますが、サルコペニアとは何らかの影響による筋肉量の減少という意味です。サルコペニアが生じる原因として低栄養があります。今回の発表演題一例は低栄養が原因でサルコペニアが生じたと考え、栄養状態と筋肉量・ADLを評価しながらリハビリを施行し経過を

院内感染研修

3月25日・31日の2回にわたり、当院薬剤科の並慎一朗副科長による院内感染研修会を開催しました。「抗菌薬の使用について」というテーマで、当院における抗菌薬使用状況報告と今後の課題について詳しい説明を受けました。当院の現状という点もあり、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。



部署紹介

AB5病棟

副師長 河野 仁美



「AB5病棟スタッフ」

AB5病棟は、58床の介護型療養病棟です。入院患者様は認知症を伴う高齢者であつて、慢性疾患を合併している方々ばかりで、日常生活援助や介助を行い機能訓練を施し、暮らしを整えることが必要とされる病棟です。職員は現在、看護職11名、介護職30名体制で、患者様の24時間の介護療養に関わり、少しでも生活が営めるよう、日々、看護介護を提供しています。

通所リハビリテーション

副科長 新名 勝喜



「通所リハビリテーションスタッフ」

通所リハビリテーション事業所では職員は現在、医師及び看護職3名、リハビリ職3名、介護職6名体制で、一日の利用者数は23名前後で要支援1から要介護度5の認定を受けられた方が利用されています。サービス内容は、自宅環境に合った機能訓練・認知機能訓練等を行い、日常生活での自立支援を目標としています。目標を持って自宅での生活を継続していきたい方向に向いているサービスといえます。また、自宅で入浴困難な方や、安全に入浴を行いたい方に入浴サービスを行い、大きな浴槽に大変喜ばれます。レクリエーションも充実しており、毎月の栄養教育・音楽療法等を実施しています。一人一人の目標に向け看護・介護スタッフを含めて他職種の共同でサービスを提供していますので、お近くに自宅生活し、リハビリを受けたい方がいましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。



AB5病棟 お花見

4月3日(金)、AB5病棟に入院されている患者様と花見をしました。今年は、C館2階の桜がきれいに見える病室から桜を眺めました。前日までは満開だった桜も悪天候により、だいぶ散っていましたが、「桜が見れてよかったです。」と喜んで頂けました。来年こそは満開の桜が見たいですね。



第30回 日本静脈経腸栄養学会学術集会 臨床栄養の最前線

追いました。その結果、栄養状態、筋肉量・ADLに追い付きました。また、ADLに相関関係があるのではないかと、また症例を追った結果、新たな問題が生じたことについてまとめ、発表しました。発表したことによって他院のコーディネイターとの連携の大切さを学びました。今後は、栄養分野においてのリハビリの重要性を伝えることでNST活動が活発になればと思います。最後に、このような発表の機会を与えていただき本当にありがとうございます。共同研究者としてご指導いただきました栄養科の津貫主任、ご協力いただきました病棟スタッフの皆様ありがとうございました。また、田畑院長をはじめ勝本先生、川崎センター長とリハビリスタッフには自分の研究を理解し支援していただきましたことに感謝いたします。これを機に更に研修や研究に励み、当院に貢献できるように努力いたします。